日本キリスト教団
東金教会〔３２〕
2020年８月９日 聖霊降臨節第１１主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	井上
奏楽	中村
受付	阿波谷
案内	藤本
名札係	森川
礼拝感謝祈祷	三枝
〃　〃	岡部

前奏		中村
讃美歌	５４	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	３０	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書		司会者

〈マルコ福音書３章１３節～１９節〉

祈祷		井上
讃美歌	１７７	一同
み言葉の伝え		中村

〈選び〉

讃美歌	３５６	一同
献金		
礼拝感謝		三枝
〃　〃		岡部
報告		井上
頌栄	５４１	一同
祝祷（派遣）		中村
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖研祈祷会	８月１２日（水）休会
早天祈祷会	7:00～(除・木/日/祭日)メーヤー館
定期長老会	本日礼拝後
聖書輪読会	8月１６日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷	8月１６日(日)10:25-10:30

【報告】

☆次週１６日午後４時３０分より６時まで「ＣＳ夏のおたのしみ会」を持つ予定です。これはコロナ騒動によりＣＳ夏期行事が中止となったことから急遽計画されたものです。子ども達が楽しんで１日過ごせますようご加祷下さい。

☆8/１２,１９,２６日の祈祷会は牧師夏期休暇により中止とさせて戴きます。

☆８月１３日より１５日は幼・保園完全休園となります。

☆８月３０日は梅田先生に講壇をお守り戴く予定です。ご加祷下さい。

☆千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は八千代台教会(山本信義牧師)が対象教会です。お祈り下さい。

☆マルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

【８月9日～８月15日の誕生者】

○8/14深山　姉

※互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/2)	14	34	４８
聖研祈祷会(8/5)	3	1	4
聖書輪読会(8/2)	2	3	5
教会学校(8/2)	4	11	1５

早天祈祷会			
日	男	女	計
8/3	1	1	2
8/4	1	1	2
8/5	1	1	2
8/7	1	1	2
8/8	2	1	3

主日礼拝献金（８/２）……31,000円
教会学校献金（８/２）……４,０００円

【今日のメッセージ】

題　〈選び〉

聖書　マルコ福音書3:１３～１９

１・１２使徒の任命

２・神のご支配の秩序の形成

３・神の義とご支配

【次週(８月１６日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈世に逆らい立つ主イエス〉

聖書	マルコ福音書3：２０～３０
交読文	３１
讃美歌	６６番　２７４番　３３８番

【次週(８月１６日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	中村
司式者	森川
奏楽者	中里
受付者	今井
案内者	王
名札当番	宮中
礼拝感謝祈祷	井上
〃　〃	藤田
ｃｓお話し	戸波
会堂清掃者	薬師寺
〃　〃	王
花係	猪野
看板書き	澤本

【聖書から】

「イエスが多くの病人を癒されたので、病気に悩む人たちが皆、イエスに触れようとして、そばに押し寄せ・・・」

マルコによる福音書三章十節

潮目が変わる、と言う言葉がある。今まで油を溶かし込んだ様な海面で魚一匹捕れなかった海に突如として魚の群が押し寄せ、思いも寄らぬ大魚になる：そんな状況が思い浮かぶのである。主イエスのこのときの状況はそのようなものであったのかもしれない。もしこれが自分であったなら諸手を挙げてその幸運を味わおうとするのではないか。成功すると言うことは麻薬の様な興奮をもたらす。それが嘘偽りない私たちの姿である。今、イエスの廻りにはそのような状況が現出している。主の力を求め、このお方におすがりし、この御方の御名を讃えようとする群が押し寄せている。しかし主はそれを成功のチャンス、伝道戦線拡大の絶好の好機とはお考えにならなかったようである。むしろそれとは逆に彼らから我身を離そうとしているかに見える。何故だろうか。苦しむ者、悲しむ者に同情しないと言うわけではない。けれども主が彼らに与えようとするもの、―したがって私達が主から受け取ろうとするもの―は彼らが、そして我らが求めるものとは微妙な異なりがあるように思う。そしてその異なりは確かに微妙である。が、その本質を追求するなら、それは全く異質なものではなかろうか。私達の求めるもの、それは煎じ詰めればこの世の幸いである。私達はそれを秘かに、あるいはあからさまに求める。その幸福に酔いたいと願う。そしてそれを与えてくれる存在こそ我らにとって神となり、我らのヒーローとなる。けれどもそれは厳しく言えば偶像であり、真の神のなさることではない。主イエスはその危険を十分に承知しておられた。だからご自分を祭り上げようとする者達から身を避けようとしたのである、主は真実の神を語り、この神に依り頼むことの大事さを我らに教えようとされている。眞の神と偶像の神は僅か一歩の違いに過ぎないことを見分ける目を持ちたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。